

寄稿 内田雅敏(弁護士)

日中の緊張緩和に貢献

三菱マテリアル中国人強制労働事件和解



働中に711人(他に船中で11人)が亡くなった。他の企業及び日本国家が同社に倣い早急に問題の解決に当たると呼びかけた。強制労働問題は中国人だけでは無い。調印式の終了に際し、労工ら及び同社は、遠く異国の地で亡くなった、そして故国に帰ったが本和解の成立を待つことな

「過ぎて改めざる是を過ちといふ」。6月1日、北京で締結された三菱マテリアル社中国人強制労働事件和解において、同社の代表、木村光・常務執行役員が中国人受難生存労工に対して述べた「謝罪文」の二節である。

謝罪文にある「事業所」の中には昨年、世界ユネスコ文化遺産に登録された「軍艦島」として有名な長崎市の端島海底炭鉱等がある。三菱マテリアル社は、謝罪の証として、中国人受難者・遺族に対し、1人当たり金10万円(約170万円)の和解金を支給し、さらに「二度と過去の過ちを繰り返さないために、記念碑の建立に協力し、この事実を次の世代に伝えていくことを約束する」とし、事業所等での「受難の碑」建立の費用、中国からの受難者・遺族をお招きしての追悼事業費を別途支給することとし、三菱鉱業では強制労働中に711人(他に船中で11人)が亡くなった。

「過ぎて改めざる是を過ちといふ」。6月1日、北京で締結された三菱マテリアル社中国人強制労働事件和解において、同社の代表、木村光・常務執行役員が中国人受難生存労工に対して述べた「謝罪文」の二節である。

謝罪文にある「事業所」の中には昨年、世界ユネスコ文化遺産に登録された「軍艦島」として有名な長崎市の端島海底炭鉱等がある。三菱マテリアル社は、謝罪の証として、中国人受難者・遺族に対し、1人当たり金10万円(約170万円)の和解金を支給し、さらに「二度と過去の過ちを繰り返さないために、記念碑の建立に協力し、この事実を次の世代に伝えていくことを約束する」とし、事業所等での「受難の碑」建立の費用、中国からの受難者・遺族をお招きしての追悼事業費を別途支給することとし、三菱鉱業では強制労働中に711人(他に船中で11人)が亡くなった。

アジア・太平洋戦争が制連行し、鉱山、ダム建設現場など135事業所で強制労働させた。

謝罪文にある「事業所」の中には昨年、世界ユネスコ文化遺産に登録された「軍艦島」として有名な長崎市の端島海底炭鉱等がある。三菱マテリアル社は、謝罪の証として、中国人受難者・遺族に対し、1人当たり金10万円(約170万円)の和解金を支給し、さらに「二度と過去の過ちを繰り返さないために、記念碑の建立に協力し、この事実を次の世代に伝えていくことを約束する」とし、事業所等での「受難の碑」建立の費用、中国からの受難者・遺族をお招きしての追悼事業費を別途支給することとし、三菱鉱業では強制労働中に711人(他に船中で11人)が亡くなった。



三菱マテリアルとの和解を正式発表し、記者会見する元労働者の間玉成さん=1日、共同

「過ぎて改めざる是を過ちといふ」。6月1日、北京で締結された三菱マテリアル社中国人強制労働事件和解において、同社の代表、木村光・常務執行役員が中国人受難生存労工に対して述べた「謝罪文」の二節である。

働中に711人(他に船中で11人)が亡くなった。他の企業及び日本国家が同社に倣い早急に問題の解決に当たると呼びかけた。強制労働問題は中国人だけでは無い。調印式の終了に際し、労工ら及び同社は、遠く異国の地で亡くなった、そして故国に帰ったが本和解の成立を待つことな

(つちだ・まこと)